

## 事例① 行政・地域・民間団体等の支援で学校の「部活動」から「地域活動」へ

## 下北 Jr ウインドオーケストラ（青森県）

(http://shimobun.com/publics/index/91/)

## 【基本情報】

名称	下北 Jr.ウインドオーケストラ
所在地	青森県むつ市
設立	2019 年
運営主体	下北文化会館 むつ市、むつ市教育委員会、青森県吹奏楽連盟、下北地区吹奏楽連盟、海上自衛隊大湊音楽隊、(株)東京堂（指定管理業者）
きっかけ	むつ市は少子化が進んでおり、各学校で個別の部活動を継続することが困難であること、教員の働き方改革の観点から、小学校の部活動が 2018 年に廃止された。運動部は保護者の協力やスポーツ少年団との連携により比較的簡単に地域に引き継がれたが、吹奏楽部、合唱部等の文化部は活動が停止した。過去には東北大会レベル、全国大会レベルで活動していた部活動もあったことから部活動の廃止が地域に惜まれており、部活動を希望する児童をサポートしたいという意思のある地域の尽力により本事業を立ち上げた。
スキーム	
活動場所	下北文化会館（青森県むつ市）

## 【活動概要】

下北ジュニアウインドオーケストラは、下北文化会館の事業として令和元年に立ち上げた。下北文化会館の指定管理者である株式会社東京堂による自主事業である。

下北管内の小学 1 年生から 6 年生までの児童が学校の垣根を超えて、地元の文化の拠点であり唯一のホールである下北文化会館に集まり練習に励んでいる。行政をはじめ民間団体等から応援で活動中である。

## 【活動の様子】



## 【児童・生徒への指導に関する工夫】

### 【指導者の工夫】

- 地元音楽家のうち児童に対して楽しく、面白い指導ができる音楽家を指導者として選定している。指導者は登録制である。
- 外部講師として自衛隊の「大湊音楽隊」による指導も実施した。これは地方自治体経由の調整により実現した。
- 楽器ごとに指導者がつき、分かれて指導を行うが、運営事務局員が各パートの練習場所を巡回し、支援している。

## 【継続的運営に関する工夫】

### 【活動に必要な用具・道具の調達】

- 各小学校の部活動で使っていて部活動廃止により不要となった楽器を、むつ市にて整備した後、下北文化会館に無償で貸し付けている。参加者にそれぞれ楽器を貸与し、自宅に持ち帰っている。大型の楽器等、持ち帰らない場合には文化会館の空きスペースに保管している。指導時に利用するメトロノーム、譜面台、打楽器等も同様に保管している。
- 楽器を壊した場合は壊した児童（保護者）が修理費用を負担する。ただし、経年劣化は無償修理を実施する。
- 元々が中古品であり、グレードも高くない楽器を利用しているため、楽器保険には加入していない。

### 【活動経費】

- 主な収入は月謝及び寄付金であり、主な支出は楽器等の道具代及び外部講師への謝金である。
- みちのく銀行の運営する「公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」の助成金への応募や、地元奉仕団体からの寄付により初年度の運営が進んだ。
- 下ジュニの演奏会を有料化した収益や、下ジュニへの演奏依頼に対する謝金等も今後活動資金として活用していく予定である。

## 【活動の詳細】

参加者	下北管内の小学1年～6年生 44名（男：14名・女：30名）※2020年7月現在	
募集方法	チラシによる募集。募集時期のチラシの配布に市内小学校全校による協力体制を構築	
指導者	外部人材を活用 ● 指定管理者兼指導者（3名） ● 外部専属コーチ（8名） ● 海上自衛隊大湊音楽隊による臨時指導（年2回程度）	
移動手段	保護者による送迎	
活動費用	● 施設使用料：無料 ● 楽器使用料：無料 ● 講師謝礼：2,000円/回（2時間）を実施回数で月額として支払 ● その他：楽譜購入、楽器購入、大会参加費等	
活動財源	● 寄附金 1,683,000円 ● 会費：月額 2,200円	
スケジュール	基本活動	● 年間40回。土・日・祝を基本に1回2時間（午前・午後・夜間のいずれか） ※現在は、コロナ対応として、全館貸し切り使用できる曜日・時間に各部屋、各楽器毎に分かれて活動中。（例：土18時-20時等）
	年間スケジュール	年3回の成果発表会兼お楽しみ会を実施 10月吹奏楽祭 12月アンサンブルコンテスト 3月シモジュニコンサート（有料公演）
保険加入等	公立文化施設保険に加入	

## 事例② 地域の文化・芸術体験事業が自治体・教育委員会認定の「地域部活」に発展

# 地域部活・掛川未来創造部 Palette（静岡県）

([http://www.fuji2010.net/image\\_fcn/100/index.html](http://www.fuji2010.net/image_fcn/100/index.html))

### 【基本情報】

名称	地域部活・掛川未来創造部 Palette
所在地	静岡県掛川市
設立	2018年
運営主体	一般社団法人 ふじのくに文教創造ネットワーク (2020年より「特定非営利活動法人 日本地域部活動文化部推進本部」として再編予定)
きっかけ	家庭の経済状況に関わらず子どもが多様な文化・芸術体験を積むことができるようにするため、継続的、分野横断的な課外活動として中学生を対象とする総合文化系「地域部活」を創設した。加えて、掛川市では部活動による教員負担軽減や少子化等への対応を推進していたことから、当部活動が「地域部活」に認定された。
スキーム	
活動場所	掛川市美感ホール（静岡県掛川市）

### 【活動概要】

地域部活・掛川未来創造部 Palette（以下、「当部活動」）は、静岡県文化プログラムの助成を受け 2018 年に創設された。一般社団法人「ふじのくに文教創造ネットワーク」（以下、「当法人」）を運営主体とする事業である。

掛川市内の全中学生を対象に部員を募集し、音楽、演劇、放送を融合した合同部活動として活動している。行政をはじめ当法人スタッフや教育委員会、外部講師等の地域の多様な組織を巻き込んでの運営を行っている。

### 【活動の様子】



## 【児童・生徒への指導に関する工夫】

### 【指導者の工夫】

- 運営スタッフ、部活動顧問、副顧問は当法人メンバーが担当する。顧問、副顧問は「見守り」に徹することができるよう、大枠の活動テーマのみ「プロデューサー」（理事が兼任）が設定し、日々の活動内容・方法は児童・生徒が主体となって検討・実施している。
- 演劇、音楽、ダンスの表現方法等の指導役として、地元の劇団等に外部講師を年数回依頼している。児童・生徒のやる気や自主性を引き出すような指導を実施している。

## 【継続的運営に関する工夫】

### 【学校との連携方法】

- 掛川市内中学校では、生徒が加入できる部活動の種類として、学校部活動と地域部活があり、当部活動は地域部活として部活動リストに掲載されている。これにより、市内の全中学生の参加が可能である。
- 学校教員は運営に直接関与せず、活動見学や顧問が年 1 回取りまとめる活動報告の確認をし、活動状況を把握している。また、地域でのイベント実施の際には教育委員会と一体で連携し、学校教員へのイベント周知も行っている。

### 【活動経費】

- 主な収入は静岡県文化プログラム「地域密着プログラム」採択による助成金であり、主な支出は活動場所として使用する施設使用料、外部講師の謝礼等である。当部活動の試行段階であった 2017 年度から 4 年間活用してきた。
- 上述のプログラムは 2020 年度で助成終了のため、新たな資金調達先として、地元の信用金庫や有力企業への寄付支援等を依頼している。場合によっては、保護者から月額数千円程度の活動費用徴収も検討している。

## 【活動の詳細】

参加者	掛川市内の中学 1～3 年生 41 名（1 年生：22 名、2 年生：4 名、3 年生：15 名） ※2020 年 7 月現在	
募集方法	市内の各中学校にて、部活動加入希望時に募集。加えて、2 月に小学校 6 年生を対象とした部活体験&説明会を実施。	
指導者	顧問・副顧問は当法人メンバーが担当し、表現指導等は外部講師を活用 ● 顧問・副顧問：当法人メンバー（元学校教員等、教育的知見を有する人材が中心） ● 外部講師：地元の劇団員（年数回）	
移手段	保護者による送迎、自転車、公共交通機関（バス等）	
活動費用	● 施設使用料：〇〇 ● 講師謝礼：〇〇	
活動財源	● 助成金 2,000,000 円	
スケジュール	基本活動	年間 100 回程度。平日（火・木曜日）と週末（土 or 日曜日）の週 3 日 2 時間。 ※現在はコロナ対応として、Zoom を使用した「テレ部活」をスタート。
	年間スケジュール	年複数回にわたり静岡県主催イベント等での発表機会を設定 7 月 ふじのくにユニバーサルミュージックフェスティバル 9 月 静岡県文化プログラム主催イベント 2 月 小学校 6 年生対象 部活体験&説明会（計 3 回）
保険加入等	〇〇に加入	

## 事例③ 地域団体による学校部活動支援

## 矢野ジュニアマーチングバンド（広島県）

(xxxxx)

## 【基本情報】

名称	矢野ジュニアマーチングバンド
所在地	広島県広島市
設立	2019年
運営主体	矢野ジュニアマーチングバンド
きっかけ	教員の働き方改革及び部活動の指針に基づき、部活動の活動時間が制限される中で、マーチングバンドの全国大会に出場したこともある強豪校である広島市立矢野中学校吹奏楽部のマーチングバンドの活動を支援することを目的としている。矢野中学校吹奏楽部の顧問である、非常勤講師・部活動支援員が学校長の理解の下、2019年に本活動を立ち上げた。
スキーム	
活動場所	矢野小学校校庭を中心に、近隣の体育施設

## 【活動概要】

矢野ジュニアマーチングバンドは、矢野中学校の吹奏楽部を支援することを目的として、矢野中学校吹奏楽部の部員を中心に活動している。毎週土曜日の午後、1回4時間程度、学区内の小学校の校庭（学校体育施設開放事業を利用）や近隣の体育施設を借りて活動している。

講師は、吹奏楽部の顧問1名（非常勤講師・部活動支援員）を中心として、吹奏楽部の卒業生や日本マーチングバンド協会の指導者資格保有者が務める。

## 【活動の様子】

写真を掲載

## 【児童・生徒への指導に関する工夫】

### 【指導者の工夫】

- 部活動では吹奏楽の指導を中心にマーチングバンドも取り扱い、本活動ではマーチングバンドの指導を中心として実施している。
- 部活動と本活動の範囲を明確化するため、部活動で扱う楽曲と本活動で扱う楽曲を異なるものとしている。部活動として実施する楽曲については、本活動に参加していない吹奏楽部員も参加できる。

### 【学校との連携】

- 通常の部活動と同じく定期試験前は活動を休みにするなど、学校歴に配慮した練習スケジュールとしている。

## 【継続的運営に関する工夫】

### 【活動に必要な用具・道具の調達】

- 中学校の吹奏楽部で利用している楽器類を利用している。中学校の楽器類の搬出・搬入は、中学校の部活動指導員を兼務する本活動の指導者の監督の下で行っている。
- 地域団体の活動として学区内の小学校の学校体育施設開放事業に参加し、小学校の校庭を練習に利用している。本活動は中学校部活動とは切り離して運営しているため、中学校施設を練習に利用することはない。

### 【活動経費】

- 主な収入は会費であり、主な支出は活動に係る保険料、活動場所の施設利用料と講師への謝金である。

### 【地域からの理解】

- 練習場所である小学校の近隣住民への騒音問題発生を配慮し、校庭では演奏をしないフォーメーション（動き）の練習を中心としている。周辺住民への説明や発表会・演奏会への紹介等を通じて、徐々に地域住民の理解を得ているところである。

## 【活動の詳細】

参加者	約 50 名	
募集方法	矢野中学校吹奏楽部参加者の中から募集。	
指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校非常勤講師・部活動指導員が活動を調整・指導。</li> <li>● 矢野中学校吹奏楽部の卒業生及び日本マーチングバンド協会の有資格者が外部講師として指導。</li> </ul>	
移動手段	徒歩	
活動費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設使用料：〇〇</li> <li>● 楽器使用料：中学校の楽器を利用するためなし</li> <li>● 講師謝礼：3,000 円/回 等</li> </ul>	
活動財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会費：月額 500 円</li> </ul>	
スケジュール	基本活動	● 毎週土曜日 14 時から 18 時（4 時間以内の活動）
	年間スケジュール	<p>下記の予定であったが、一切の活動を自粛している。中学校吹奏楽部としてエントリーするか、矢野ジュニアマーチングバンドとしてエントリーするかは未定のものも含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月：地域の運動会での発表</li> <li>5 月：広島フラワーフェスティバルパレード・地域のスポーツ大会でドリル演奏</li> <li>6 月：広島県マーチングバンド ステージフェスティバル</li> <li>9 月：広島県マーチングコンテスト</li> <li>10 月：マーチングインオカヤマ</li> <li>11 月：マーチングバンド 中国大会</li> <li>2 月：マーチングバンド ステージコンテスト全国大会</li> <li>3 月：スプリングコンサート</li> </ul>
保険加入等	スポーツ安全保険	